

漏水調査報告書

調査日：令和〇年〇〇月〇〇日

工事場所：〇〇〇〇 〇〇〇〇様邸

依頼者：〇〇〇〇様

1. 調査概要

漏水箇所の特定を目的として、音調式およびガストレーサー式による漏水調査を実施した。

2. 調査内容

屋外給水配管について音調式調査を実施したが、漏水音による箇所の特定はできなかった。その後、建物内を確認したところ、ボイラーが屋内に設置されており、ボイラー給水管から微かな漏水音を確認した。

この結果をもとにガストレーサー式による屋外調査を実施したところ、ボイラー給水管の建物への引込部付近で強いガス反応を確認した。

反応箇所周辺に複数の確認孔を設け、音調棒による確認を行った結果、漏水音を確認するとともに、音調棒に水滴が付着する状況を確認した。

3. 調査結果

音調式およびガストレーサー式による調査結果、さらに確認孔からの漏水音・水滴の状況を総合的に判断し、ボイラー給水管の建物引込部付近にある分岐部からの漏水である可能性が極めて高いと判断した。

漏水箇所については、修繕工事が可能な範囲まで特定した。

4. 所見

屋外からの音調式調査のみでは漏水箇所の特定が困難であったが、建物内部の音調確認とガストレーサー式調査を組み合わせることで漏水範囲を絞り込むことができた。

修繕時には当該箇所を掘削し、実際の漏水箇所および配管状況を確認したうえで修繕を行うことを推奨する。

令和〇年〇〇月〇〇日

小口設備工業株式会社

漏水調査士：小口 泰永